

言 刃

校長 野口 祐人

言 刃

杉本深由起

言葉は 言刃にもなると
わかりながら使うとき
もっとも するどい刃物になる

あるのにな
こころの傷口に
そっとあててあげる
ガーゼのような 言葉だって

※詩集「ひかりあつめて」より
(本校図書室にあります)



22歳の若き女性プロレスラーが亡くなったとの報道がなされています。報道によると、SNS上で、この亡くなった方に対する「消えろ」「気分悪い」などたくさんの誹謗中傷があったとのことであり、さらに、この方は自ら命を絶ってしまったとのことでした。この報道に対して、そして、この誹謗中傷に対して、様々な著名人の方々も声を上げています。誹謗中傷が原因であったとすれば、大変に悲しく、痛ましいことだと言わざるを得ません。

上記で紹介したのは、杉本深由起さんという方の詩です。言葉は、使い方によっては、大変恐ろしい凶器にもなるし、逆に、人の心を温めたり、勇気づけたりする大きな力になったりします。このことを私たちは、肝に銘じるべきだと思います。特に、今回の誹謗中傷は匿名だったと聞いています。自分の名前は隠して、刃物だけを振りかざす、しかも大勢が、です。SNS上でのこのようなあり方も、言葉の使い方とも問われて当然のことだと思います。くり返しになりますが、言葉は言刃にもなる、このことを忘れてはならないと思います。

6月から、学校が段階的に再開されます。今まで、臨時に休業が続いていたのは、紛れもなく命を守るためです。命が最も大事だから休業だったわけで、これは学校が再開しても変わりません。自他の命が大事なのだから、言刃によって人の心を傷つけていいはずがありません。学校は本来支え合う場所です。お互いの言葉によっても、行動によっても支え合うことを学んでほしいと思います。少なくとも、言葉を人に対して使うとき、自分でわかりながら言刃にすることは、あってはならないのです。もちろん、これは学校の内外を問いません。

これからしばらくは新しい生活様式の中での学校生活となります。学校で生活するみんな、できる限りの感染防止に努めて、みんなで生活できる喜びを感じたいと思います。新しい生活も、お互いがんばっていきましょう。6月の学校再開、新しいスタートに当たって、ふさわしい話題ではなかったかもしれませんが、私たちが考えなければいけないテーマだと思ったので、あえて話題にしてみました。

西中「善泉賞」について

昨年に引き続き、「だれかのために 何かができる」、そんな「善循環基地の泉」のような行動に贈る「善泉賞」を始めます。詳細は、下記を御覧ください。

1. 手順

誰かの「よい行い（思いやりのある行動）」を見つけた場合は、「西中善泉賞 推薦書」に必要事項を記入して『西中善泉賞推薦書入れ』に入れてください。

2. 場所

「西中 善泉賞 推薦書」

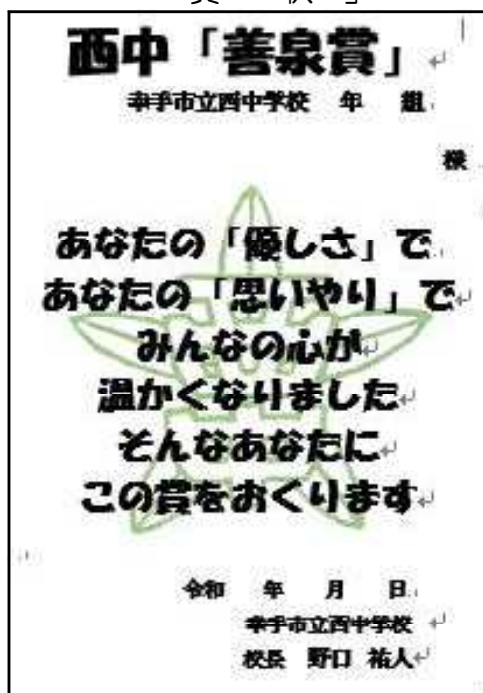
→ 各クラス職員玄関等

『西中 善泉賞 推薦書入れ』

→ 各学年フロア等

※ 推薦者は、生徒・教職員・保護者・地域の方々等
誰でもOK!

「賞状」



6月の予定

月日	曜	行事	部活動
6/1	月	分散登校	×
6/2	火		×
6/3	水		×
6/4	木		×
6/5	金		×
6/6	土		×
6/7	日		×
6/8	月	午前グループのみ給食開始	×
6/9	火		×
6/10	水	学年タイム	×
6/11	木		×
6/12	金		×
6/13	土		×
6/14	日		×
6/15	月	入部届け提出日(2, 3年)	×
6/16	火		×
6/17	水	学年タイム	×
6/18	木		×
6/19	金	↓	×
6/20	土		×
6/21	日		×
6/22	月	通常登校・通常給食	×
6/23	火	3年・けやきひのき 発育測定	○
6/24	水	学年タイム	○
6/25	木	1年 発育測定、 1年 部活仮入部(7/3まで)	○
6/26	金	2年 発育測定	○
6/27	土		○
6/28	日		○
6/29	月	3年・けやきひのき 聴力検査	○
6/30	火	1年 聴力検査	○

準備登校の様子

1年



2年



3年



けやき・ひのき学級

